

滋賀県病院協会報



発行所
 一般社団法人 滋賀県病院協会
 大津市京町四丁目3-28
 (滋賀県厚生会館)
 TEL 077-525-7525
<http://sbk.co-site.jp/>
 発行人 会長 廣瀬 邦彦

平成25年度「病院医療懇談会」開催される

滋賀県病院協会 理事 金子 隆昭



病院協会からは廣瀬会長をはじめ、院長・理事長あるいは事務長が41名参加し、冒頭の廣瀬会長、那須健康福祉部長の挨拶の後、長尾病院協会副会長の司会進行で、病院協会から4題の問題が提議され、県側が回答するという形式で進められた。

以下に提案議題と質疑応答を報告する。

1. 滋賀県における死亡時画像診断(AI)に関する実態調査結果をふまえて、問題意識の共有と標準化を目指す

片岡副会長

現在年間の死亡者数は100万人に達するが、解剖による死因究明率は2%程度と極めて低く、死因に犯罪が絡んでいたケースの報告もあり、CTによる死亡時画像診断(AI)に対するニーズは大きい。また各都道府県に少なくとも一つのAIセンターの必要性が指摘されているが、近畿地区では滋賀県と和歌山県には設置されていない。このような状況を鑑み、

滋賀県病院協会では3つの取り組みを行った。まず取り組みとして、県内の病院にAIの実施状況について、アンケート調査を行った結果、問題点の共有化と標準化を目指す新たなシステム構築が必要と考えられた。取り組み2として本年3月19日近畿病院団体連合会において、AIアンケート調査の結果を報告し、その際AIセンターを設置している府県からの助言を求めたが、各府県ともAIセンターは形骸化

題が異なるからです。

まず、患者自身が選択決定することが出来ない場合がほとんどです。加えて、必ずしも家族が親身になってくれるとは限らないこともあります。場合によっては、あまりに早い段階で治療放棄を希望されることもありま

ある程度の余命予測が可能ならば、必ずしも対処が導き出されてきます。しかし、老年期医療においては、どの時点を終末期とするか自体も曖昧な

のジレンマを避けて通ることとはどうしても出来ません。内閣府の高齢者調査によると、延命を望む高齢者は20人に一人程度であるのに対して、家族

に2億円の基金を積み立て、7年間で3000人の確保を目指すという報告があったが、進捗状況と今後の見込みはどうか。

山元課長…

1. 第5期介護保険事業計画では、特別養護老人ホームを平成24年度に203床、平成25年度に139床整備し、平成26年度に264床整備する予定である。認知症については、認知症の早期発見と早期対応の充実のため、相談員やサポート員、診療所の看護師、介護の実践者やサービス業者、介護支援専門員の研修を行っている。

2. 平成22年度に訪問診療を受けた患者数は、3,805人/月であり、平成29年度には5,100人/月まで増加すると見込まれる。また、平成23年度の死亡患者数は11,884人であり、(病院以外の)在宅での死亡患者数は、2,5003人である。2030年には、死亡患者数は17,000人、在宅での死亡患者数は2倍になると見込まれる。訪問看護ステーションの充実も重要なが、県民の在宅医療や週末期医療との関わりについての啓発が大切と考えており、住民向けのフォーラムや講演会を開催し、今年度からは電子媒体を用いた情報発信している。

瀨古課長…

1. 平成22年度から27年度の間に独居老人、高

私の主張

「人間五十年、化天のうちを比ぶれば 夢幻のごとくなり 一度生を享け 滅せぬもののあるべきか」これは、信長公が惟任日向守の夜襲を受けた際に舞ったとされている。この頃の死生観は相当にシンプルだったようです。当時の医療水準からすれば自然なことかもしれません。さて、平均寿命が80年に及ぶ現代、

私たちが日常臨床で遭遇する老年期終末医療において、いろいろな悩みや矛盾を感じることが多くあります。本邦でもその議論はされるようですが、対象として語られる中心は神経変性疾患や悪性新生物です。一方で老年期医療についてはそれほど熱心に語られてきませんでした。この領域における終末期医療は抱える問

意「意味」といった根源的な問題に行き着いてしまい悩まされることかしばしばです。

終末期の「延命治療をどうすべきか」その

の立場では7人に一人が延命を望んでいるとあります。ただ、その家族と同等の葛藤があるはずで、少しでも可能性があ

年齢者夫婦はそれぞれ28%、17%増加すると見込まれる。個々の独居老人の実態は把握できていないが、独居老人を含めた災害時要援護者への対策の一環として、市町レベルで名簿を作成し、実態を把握するよう、マニュアル作成や市町への啓発を行っている。また暮らし支えあいNPO支援事業を委託したり、高齢者が地域で孤立しないように、地域レベルでの活動を支えるための基金を設けている。

茂森課長…

3. 在宅医療支援病院は現在6か所あるが、平成29年度までに2次医療圏内に少なくとも1か所は設けるように数値目標を掲げた。在宅医療に協力できる病院が、それぞれの圏域における医療連携体制の中で後方支援病院として組み込まれるような体制づくりを進めていく。

4. 昨年度は11名が訪問看護ステーションに就業した。看護師の地域偏在解消に対しては、訪問看護ステーションへの就職の説明会、職場復帰研修などを行い、広報もしていく。

Ⅲ てんかん患者の治療環境について

石田理事

1. 滋賀県におけるてんかん患者数の実態はどうか。

2. てんかん患者にシームレスな治療を提供する計画はあるのか。

(2面に続く)

敦盛の「説から見えるもの」

一般社団法人水口病院 院長 青木 治亮



「人間五十年、化天のうちを比ぶれば 夢幻のごとくなり 一度生を享け 滅せぬもののあるべきか」これは、信長公が惟任日向守の夜襲を受けた際に舞ったとされている。この頃の死生観は相当にシンプルだったようです。当時の医療水準からすれば自然なことかもしれません。さて、平均寿命が80年に及ぶ現代、

このように問題は少ないと聞きます。また、アメリカの教育では初等高等問わず「死ぬまで何ができるべきか」を問う

安らかに眠らせてあげたいとも考えるでしょう。諸外国に比べて「寝たきり」が多いといわれる理由も、こんな葛藤の結果なのでしょうか。欧米で

死にたいか」を問うこと

平成25年度 救急医療施設医師研修に参加して



大津市民病院
集中治療部部長
福井 道彦

9月4日、大阪大学吹田キャンパス内にある高度救命センターを訪問しました。私のみならず多くの救急関係者にとって大阪大学は本邦救急医療の牽引者であり、その歴史的役割は極めて大きいといえます。私たちは中之島の「特救（特殊救急部）」から発信される各時代における最先端の救急診療情報に注目してきました。1993年、吹田に拠点を移し、現在はどのような「最先端」に取り組んでいるのか、その中から何を我々は参考にできるのか、期待を膨らませながら、広大なキャンパスをさまようように救命センターにたどり着きました。

中之島からの移転に伴う最大の変化は、特救時代は年間約300例の外傷外科治療を実施していた体制から、他科協力のもたれ、Vital確認と同時撮影しCT台上で外科手術も可能になっていきました。血管障



センター長 嶋津教授の説明

傷外科治療を実施していた体制から、他科協力のもたれ、Vital確認と同時撮影しCT台上で外科手術も可能になっていきました。血管障

害疑いの症例に関しては、アンギオ台で初療を始める体制もとられています。救急診療はその施設なりに、最終治療への最短を目指すことが求められます。阪大の最先端の取り組みや医療機器の進歩を注視しながら、各施設におけるCT・アンギオ利用を最適化する必要があると感じました。

阪大ドクターヘリの滋賀県からの要請は、17名（平成23～24年度）で16名が滋賀県内に問題なく搬送されたとのことでした。見学当日は、天候上

平成25年度 医事研究会 病院見学を終えて

東近江敬愛病院 医事課長 伊藤 裕美

平成25年8月29日（木）公立甲賀病院にて医事研究会が開催されました。参加者は33病院62名でした。

今回の内容は、公立甲賀病院、望月事務部長より新病院を改築するにあたり構想から稼働されるまでの経緯や新病院となり新たな医療体制への取り組みなどの説明と新病院の見学をさせて頂きました。

まず、研修に参加された他病院の方々の間で一番興味を示されていたのが『多言語医療受付システム』でした。これは外国の方や聴覚障害者の方が個々の言語に応じて問診がとれるもので、東近江でも外国の方が多く生活されていますが通訳の人材確保は難しく受付での対応も困難なことからとても参考になりました。

甲賀病院において私が一番驚き感じた事は、



公立甲賀病院にて

効率的な患者の動線が明確にされ個人のプライバシーが尊重されている点でした。救急患者の動線については1階で治療、3階にICUや手術室、転送となれば屋上のヘリポートと一つのエレベーターで移動出来る事でした。初診等受付窓口は、1階ごとに区切られて相対しやすいく窓口になっており、病室に関しては大部屋でありながら間仕切り家具が設置されている

し4秒で撮像できる最新のCTが備え付けられ、Vital確認と同時に撮影しCT台上で外科手術も可能になっていきました。血管障

害疑いの症例に関しては、アンギオ台で初療を始める体制もとられています。救急診療はその施設なりに、最終治療への最短を目指すことが求められます。阪大の最先端の取り組みや医療機器の進歩を注視しながら、各施設におけるCT・アンギオ利用を最適化する必要があると感じました。

阪大ドクターヘリの滋賀県からの要請は、17名（平成23～24年度）で16名が滋賀県内に問題なく搬送されたとのことでした。見学当日は、天候上

参加者募集中

第5回 研修医および若手医師のためのフォーラム
 日時：平成25年11月9日（土） 15:30～18:00
 場所：大津プリンスホテル コンベンションホール 淡海2階
 対象者：前期・後期研修医、下記演題に関心のある若手医師、指導医等 約100名
 参加費：無料
 研修会等の内容：
 講演/15:40～16:40
 講師/山脇 正永 先生（京都府立医科大学 総合医療・医学教育学教室 教授）
 演題/「自分で創る医師のキャリア：これからの医療を見据えて」
 講演/16:50～18:00
 講師/白鳥 敬子 先生（東京女子医科大学病院 病院長・東京女子医科大学消化器内科 主任教授）
 演題/「女性医師がもっと輝くために－プロフェッショナルをめざしたキャリア形成と支援－」

第2回 滋賀県女性医師交流会
 日時：平成25年12月7日（土） 13時00分～16時30分
 会場：ホテルボストンプラザ草津リンカーンボールルーム
 対象者：女性医師、男性医師、病院関係者 約100名
 参加費：無料
 交流会の内容：
 講演/13:05～14:00
 講師/桃井 真里子 先生（国際医療福祉大学副学長、前・自治医科大学小児科学教授）
 演題/「～より良い医療のために、より良い人生のために～」
 報告/「女性医師の就業とキャリア形成に関するアンケート結果」
 座談会/14:30～
 テーマ「医療現場でのワーク・ライフ・バランス！」～男も女も輝き続けるために～

（1面より続く）

3. 道交法の改正により、てんかん患者の自動車運転については、医師の診断書が必要となり、医師の負担が増えているが、県としての対応はどうか。

嶋津課長：1. 自立支援医療制度を利用しているてんかん患者は1,186人、小児慢性特定疾患研究事業を利用しているてんかん患者は85人となる。国の調査では2,000人～3,000人と報告されている。

2. 必要な専門医数や医療機関の受け入れ状態を把握したうえで、滋賀県の実情に合った診療体制の構築が必要と

考えている。

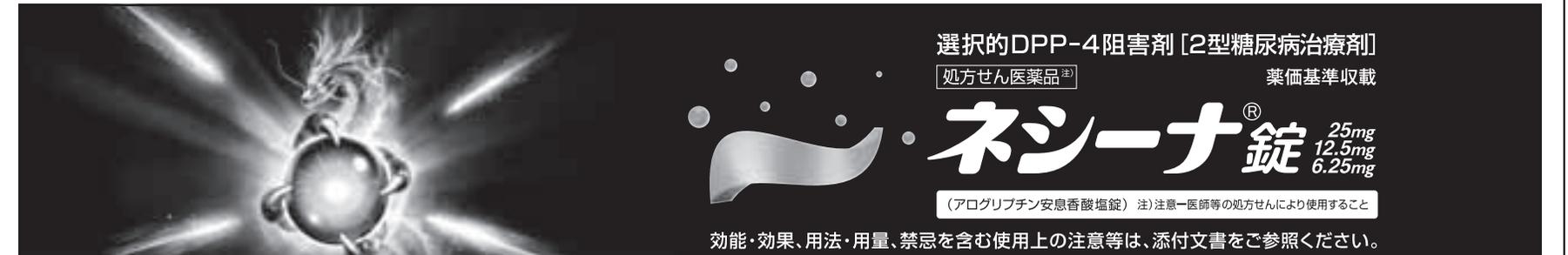
3. 医師が診断した場合の届け出は任意であり、診断書の交付を申請された場合には従前通りの対応でよい。

国の推奨する医療体制構築の計画はあるかとの石田理事の質問に対し、嶋津課長は国のモデルは滋賀県の実情に合わない」と返答された。柏木院長から、てんかん診療に関する神経内科医の不足が問題提起され、金子理事から高齢者のてんかんは在宅療養を阻害するため、在宅療養と関連させて検討してほしいとの意見が出された。

IV. 全県型医療情報ネットワークシステム（現状について）

菅田理事より、滋賀県医療情報連携ネットワークシステムの現状と、今後の運用に向けてNPO法人が設立された旨の報告がなされた。

山元課長から基盤システム立ち上げ時には地域医療再生基金を活用してNPO法人に支援を行い、関係機関等との調整に支援を送ると発言があった。既に運用されている地域のシステムを全県的に連結できるのかとの柏木院長の質問に対して、菅田理事は技術的にはクリアできると返答された。また廣瀬会長からは、このシステムを成功させるには県の援助が必要であると発言があった。



選択的DPP-4阻害剤 [2型糖尿病治療剤]
 処方せん医薬品^注 薬価基準収載

ネシーナ錠[®]

25mg
12.5mg
6.25mg

(アログリプチン安息香酸塩錠) 注 注意—医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

2012年9月作成

(資料請求先)
武田薬品工業株式会社 医薬営業本部
 〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号

平成25年度第1回近畿病院団体連合会事務長会に参加して

施設見学・ベルアンサンブル（大阪府堺市）



社会医療法人誠光会 草津総合病院 事務長代行 吉田 貴久

思うに理念を明確にし、その理念にぶれず、真摯に取り組んでいけば理念は実現化するものなのか、と甚だ感心させられた。30年前に情報システムを基盤に病棟連携、病診連携、更には、在宅へのサービスを提唱し、急性期医療、回復期医療、慢性期医療と福祉サービス、在宅医療の連携を構想として打ち出した結果、30年後の今、形としてシステムとして整備されてきている。今、この時代、まさに厚労省が2025年に向けての病床再編、機能分化、連携

を推し進めているが、先取りした形で構想を実現化されているものと驚愕この上ない。 やっぱ、ちゃんとしてるよね。と、同時にこういった一歩も二歩も先を行く施設の特徴に必ず職員への思いがある。ほぼほぼ先進的な医療機関、充実した医療機関、安定している医療機関は、職員を大切にしている。何も給与を単に上げるだけではないだろうし、充実した福利厚生、そういったものでもないと思う。思いだと思う。組織全体が職員への思いがある。先がベルアンサンブル。具体的にはベルアンサンブルは、病棟で療養病床192床、内、回リハ病床48床、医療療養病床144床で通所リハビリテーションも100名枠で運営されている。通リハでは、通常のリハビリや入浴等のサービスにプラスしてカラオケや習い事、手芸などを取り入れておられた。ベルアンブルは特別養

護老人ホームである。入居定員80名、ショートステイ定員20名、通所介護を40名枠で運営されている。ベルアンサンブルは、そのままだが、アルプはフランス語でハーブのこと、ヴィオロンはフランス語でヴァイオリンのこと、ピアノとハーブ、ヴァイオリンのアンサンブル、統一、調和と言う事である。 具体的にはベルアンサンブルは、病棟で療養病床192床、内、回リハ病床48床、医療療養病床144床で通所リハビリテーションも100名枠で運営されている。通リハでは、通常のリハビリや入浴等のサービスにプラスしてカラオケや習い事、手芸などを取り入れておられた。ベルアンブルは特別養

第11回病院医療機能評価受審フォーラムに参加して



高島市市民病院 看護部長 小谷 清美

平成25年9月11日、滋賀県病院協会主催「第11回病院医療機能評価受審フォーラム」が開催されました。公益財団法人日本医療機能評価機構より「新たな病院機能評価の枠組みについて」事務管理サーベイヤー 佐合茂樹氏、「新しい評価項目体系について」診療サーベイヤー 小野充一氏、看護サーベイヤー 大石浩子氏の3名の方か

ら講演がありました。新たな病院機能評価の枠組みは、病院の特性に応じて設定された5区分の中で、病院と機能評価機構の合意のもとに機能種別を決定すること、プロセスの評価に重点をおいた項目構成にすることで130以上の項目が88項目に集約されたことの説明がありました。中でも認定から3年目に状況確認として書面による報告を行い、初回の審査や期間中に確認された内容・課題への取り組み状況に重点をおき、継続的に質

改善に取り組むことが中間評価されます。また、「患者の視点に立った、良質な医療の実践」を評価するため、領域構成を機能種別にかかわらず4つの領域で評価されます。新しい評価手順では、各部門の業務の流れに沿って評価項目の確認が行われます。病棟概要では、病棟をラウンドして療養環境を確認し、ナースステーション内で管理・責任体制や薬剤の管理状況等も確認。ケアプロセス調査では、訪問病棟における典型的な症

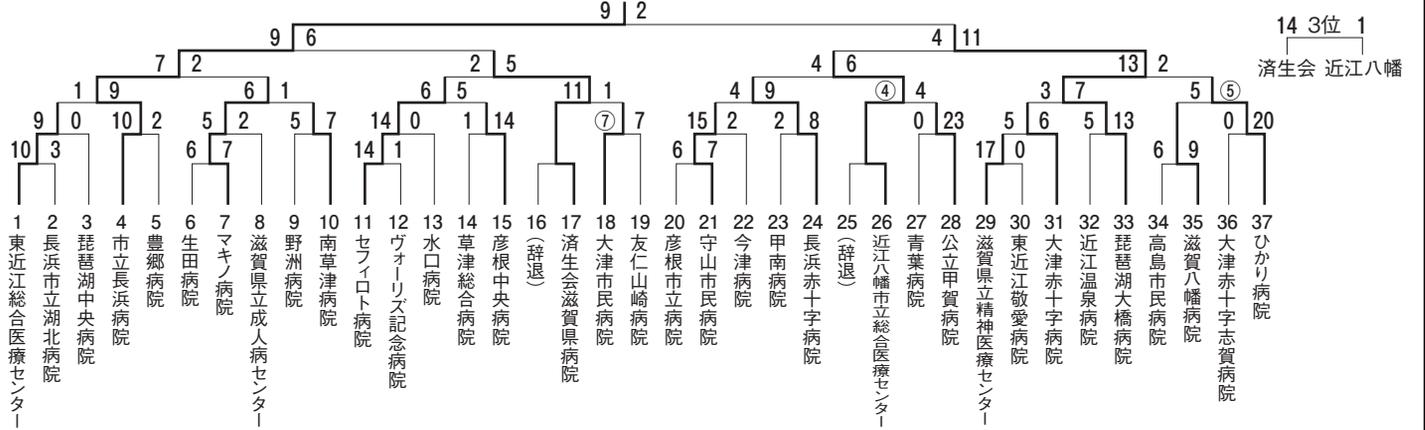
滋賀県病院協会平成25年度第27回ソフトボール大会

平成25年9月23日(月・祝)

市立長浜病院 鮮やかに優勝！ 平成25年度第27回ソフトボール大会

会員病院相互の親睦と職員の体位向上を目的に、昭和59年から開催してきた滋賀県病院協会ソフトボール大会。今年も、第27回大会として、9月23日「秋分の日」に今津総合運動公園で開催されました。58病院中37病院の申し込みがあり、2病院の出場辞退はありましたものの35病院、500名を超える職員とその家族が集い、熱戦を繰り広げました。 昨年は、雨と台風接近により中止となった本大会。2年間温めていただいた優勝旗、賞杯の返還とレプリカ授与に始まった開会式、廣瀬会長のあいさつ、一日お世話になる公式審判員の審判員(12名)の紹介と続き、いよいよ9時、試合開始。会長の始球式に続いて8面で一斉に試合が始まりました。 鍛えぬかれた技、こだまする球音、一瞬の静寂、そして、歓喜の声のなか、5戦を勝ち抜いた「市立長浜病院」が見事に優勝。準優勝には「琵琶湖大橋病院」、第3位が「済生会滋賀県病院」、そして第4位は「近江八幡市立総合医療センター」という結果でした。 勝っても負けても互いの健闘をたたえ合う…スポーツの秋、いいものです。参加して下さった選手の方々、応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

- 優勝 市立長浜病院
準優勝 琵琶湖大橋病院
第3位 済生会滋賀県病院
第4位 近江八幡市立総合医療センター



習指導体制について審査されます。チーム医療における看護の役割・機能と他職種との連携状況や看護サービスの質改善への取り組みや課題について、実践レベルでの評価がされることでもさらなる質の向上につながります。 事務管理サーベイヤーからは、特に第1領域の患者支援体制として、児童虐待・高齢者虐待・障がい者虐待・配偶者からの暴力等を受けた疑いのある場合の対応方針が評価要素にあり、手順の整備や現場で十分に確認されています。

Advertisement for SUINY 100 (Anagripichin) for type 2 diabetes treatment. Includes product name, dosage, and contact information for SKK.

受章おめでとうございます

★平成25年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰受賞
(平成25年9月9日)



大津赤十字病院 副院長兼形成外科部長 石川 浩三氏

★平成25年度救急医療功労者知事表彰受賞 (当協会からの推薦者)
(平成25年9月10日)



大津赤十字病院 健診部長 兼第二心臓血管外科副部長 栗津 篤司氏

★産科医療功労者の厚生労働大臣表彰受賞
(平成25年10月2日)



草津総合病院 周産期センター長 兼産婦人科部長 下田 諭氏

滋賀県病院協会前会長 富永芳徳先生の叙勲受賞

祝賀会が開催される。
平成25年9月16日(祝日/月)

平成25年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章された富永芳徳先生(公立甲賀病院名誉院長・特別顧問)の叙勲祝賀会が東京(全国国民健康保険診療施設協議会主催)に引き続き、平成25年9月16日に大津プリンスホテルで盛大に開催されました。当日は、台風18号の影響で心配されましたが、多くの方々に参加頂き、滋賀医科大学学長の馬場忠雄先生、京都大学医学部長の湊長博先生、発起人の公立甲賀病院組合管理者谷畑英吾様(湖南市市長)から富永先生の今までの功績が披露され、壇上の富永先生からは、御礼の挨拶とともに、地域医療の充実のためさらに頑張りたいと、地帯とその抱負を述べられた。



お孫さんからの花束贈呈

会員病院の紹介

神崎中央病院(病床数 400床)

昨年12月末にて退会の医療法人医誠会神崎中央病院が、この程再加入(平成25年9月1日付)されましたので、県内58病院全てが病院協会の会員となりました。

病院協会今後の行事予定

- 平成25年度第7回理事会
平成25年10月16日(水) 病院協会 会議室
- 平成25年度第2回事務長研修会
平成25年10月22日(火) コラボしが21 3階
- 平成25年度第3回医事研究会(未収金について)
平成25年10月24日(木) 草津総合病院おぼなホール
- 平成25年度滋賀県地震災害総合訓練
平成25年10月27日(日) 東近江地域
- 平成25年度退院調整関係者養成事業第3回検討委員会
平成25年11月1日(金) 病院協会 会議室
- 平成25年度第4回看護部長部会
平成25年11月11日(月) 病院協会 会議室
- 第5回研修医および若手医師のためのフォーラム
平成25年11月9日(土) 大津プリンスホテル
- 平成25年度退院調整関係者研修会
平成25年11月18日(月)

滋賀県庁東館7階大会議室
○平成25年度感染対策スキルアップ研修会
平成25年11月19日(火) 草津市立交流センター

○平成25年度第8回理事会
平成25年11月21日(木) 大津プリンスホテル

○第31回県医師会・病院協会連絡協議会
平成25年11月21日(木) 大津プリンスホテル

○平成25年度臨床研修指導医講習会—ブラッシュアップ研修会—
平成25年11月23日(土・祝) ヒアザ淡海 207会議室

○平成25年度医療安全対策研修会
平成25年11月28日(木) コラボしが21 3階

○平成25年度第2回滋賀県女性医師交流会
平成25年12月7日(土) ホテル ポストンプラザ草津3階

○平成25年度院内感染防止対策研修会—
平成25年12月10日(火) コラボしが21 3階 大会議室

○平成25年度第9回理事会
平成25年12月18日(水) 病院協会 会議室

新任病院長の紹介

(平成25年7月1日付)

○医療法人華頂会 琵琶湖養育院病院 加藤 卓司氏

ところ、培養の必要性を改めて感じる結果となりました。同期間のCD抗原陽性、CDトキシン陽性の検体は全体の15%でした。CD抗原陽性、CDトキシン陰性の検体は全体の19%で、その中で培養検体でのCDトキシン陽性の検体は約44%でした。つまり、従来ではCDトキシン陰性として扱っていた患者の約4割がトキシン陽性だったという結果でした。培養を実施することによって感染対策未実施の患者を減らし、より効果的な感染

対策の実践につながったと考えています。ICTがサーベイランスを実践することにより、ガイドラインに基づいた治療薬・用法用量の選択をされる医師が増えてきました。病棟スタッフの下痢に対する意識も変わり、早期より接触感染対策を実施する傾向が見られるようになってきました。今後もサーベイランスを継続し、医療関連感染の低減につなげたいと考えています。

クロストリディウム・デифィシル関連 下痢症のサーベイランスについて

市立長浜病院 医療安全管理室 感染管理認定看護師 藤木 智美

クロストリディウム・デифィシルは、抗生物質関連下痢症の起因菌として知られています。また、施設内での集団発生事例の報告も多く、感染対策においても注目されるようになってきました。ク

ストリディウム・デифィシル関連下痢症のサーベイランスを積極的に実践しています。当院では、平成21年よりCDトキシン陽性患者のサーベイランスを開始しました。サーベイラ

ス目的は、①CDトキシン陽性患者の早期把握 ②アウトブレイクの徴候を早期に発見することです。サーベイランス開始当初は、CDトキシン陽性患者の病棟別カウントのみでしたが、平成22

一步、また一步、進むと、新しい景色が見えてくる。



金米ユース・ボルダリング選手権 2012 チャンピオン 白石阿島

健康だからできること。これからも、挑戦する。

健康はキョーリンの願いです。

Kyorin 製薬グループ

- キョーリン製薬ホールディングス
- キョーリン製薬
- キョーリンリメディオ
- ドクタープログラム
- キョーリン メディカルサプライ
- キョーリン製薬グループ工場
- www.kyorin-gr.co.jp